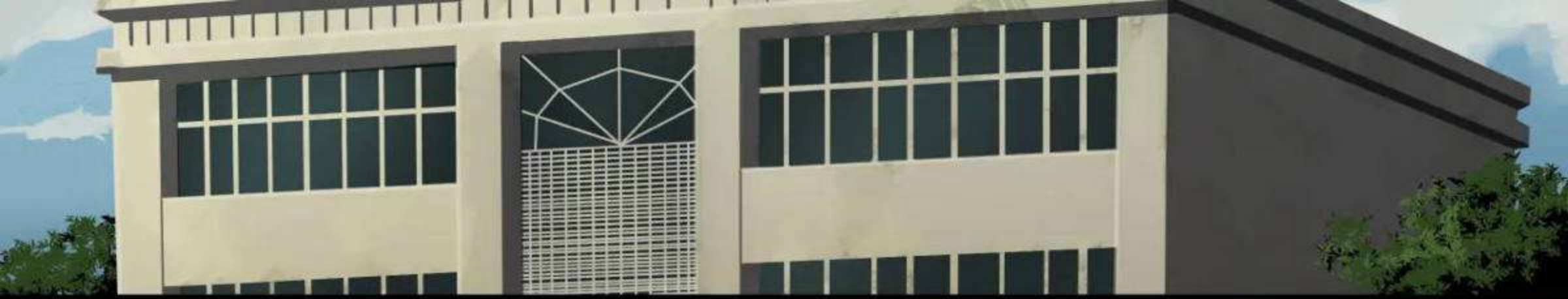




消えゆく篝火



ここは
執務室
だぞ！

なぜだい？
僕たちはもう
夫婦同然
じゃないか



ユ、ユウナ！

まて！
落ち着け！



カガリは忙しくて
今ぐらいしか
時間とれないだろ

だから
といって
こんな所で！



それに
結婚だって
まだ決めた
訳じゃ…

……

カガリ

君は賢いから
わかっているよね？

この結婚は
君のためだけではない
オーブのためでもある

まさか
オーブを捨ててまで
あのコーディネーターと
一緒になろうとは思
ってないよね？

彼は結局
コーディネーターで
僕たちナチュラルとは
住む世界が違うんだ

もっ

もちろん

そんなこと
わかっている！

ただ
あまりにも
話が急で…



あのコーディネーターでは
君を支えられない



これから僕が
君を支えるよ



ユウナ



私は…



だから今からでも
こういう事に
慣れておかないと



僕たちはこれから
ずっと一緒に暮らして
いくんだからね

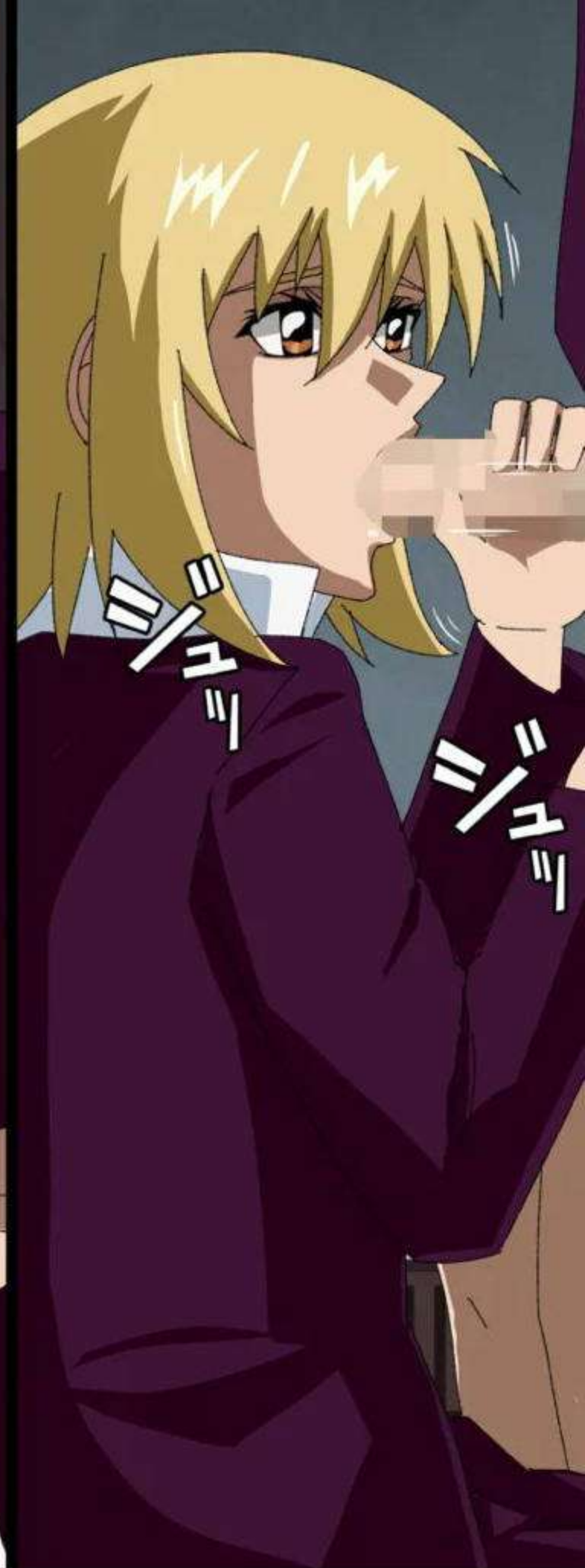


次の会合までには
間に合うか？





こんな事
アスランにも
やったこと
無いのに…

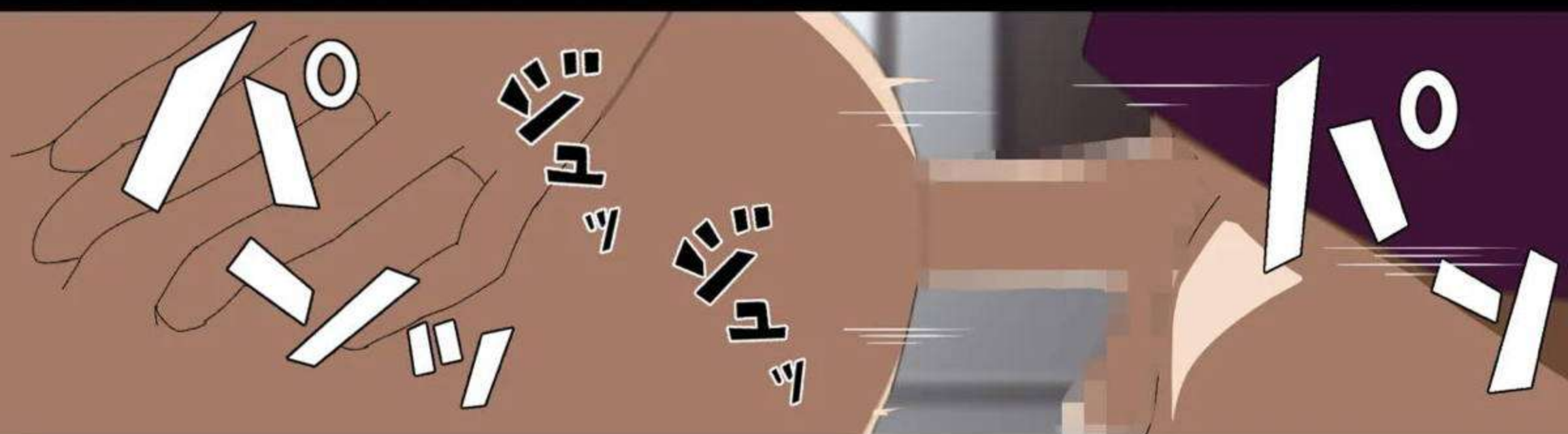






カガリの^{なか}膣
きつくて
気持ちいいよ!









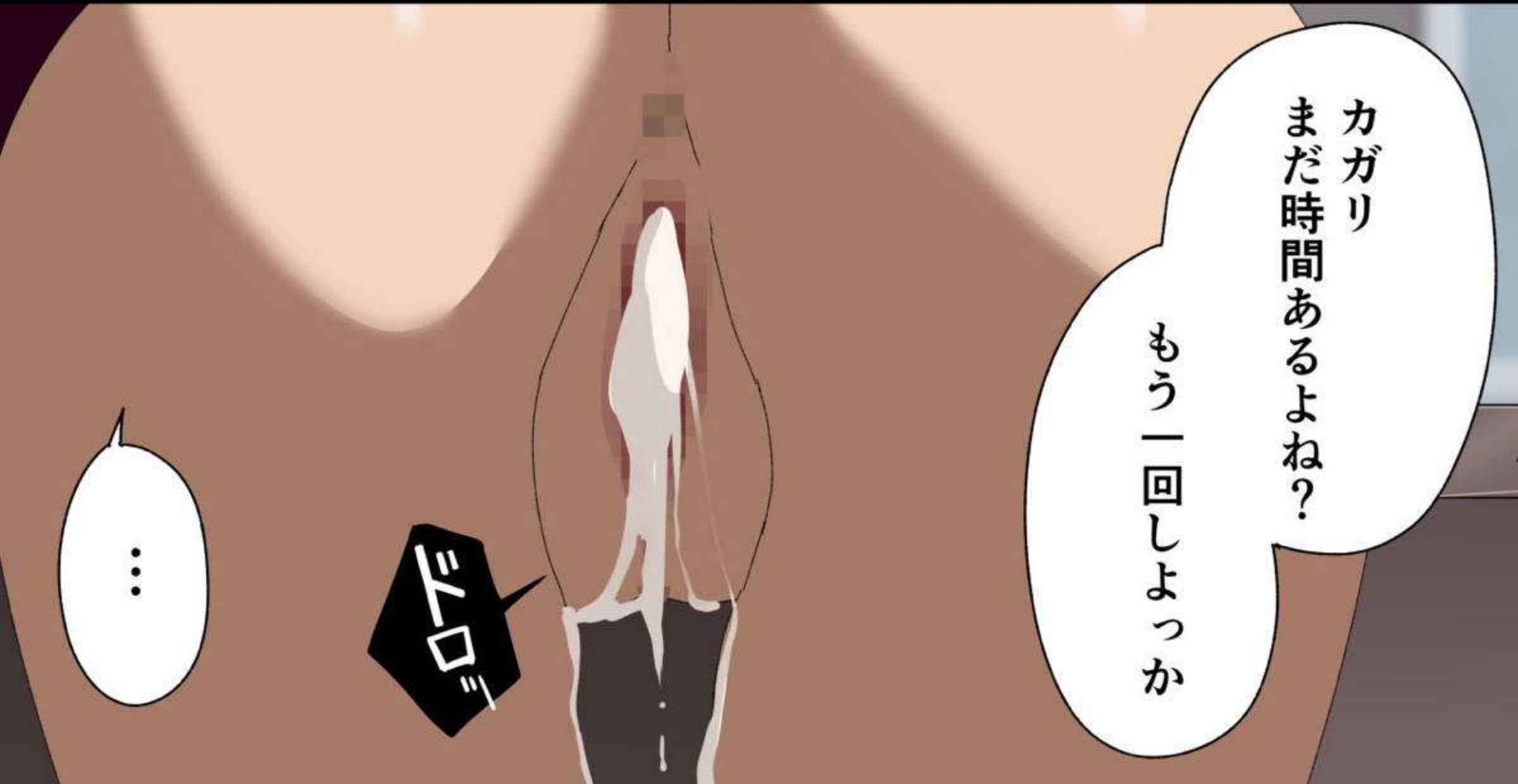
プ



はッ

はッ

はッ



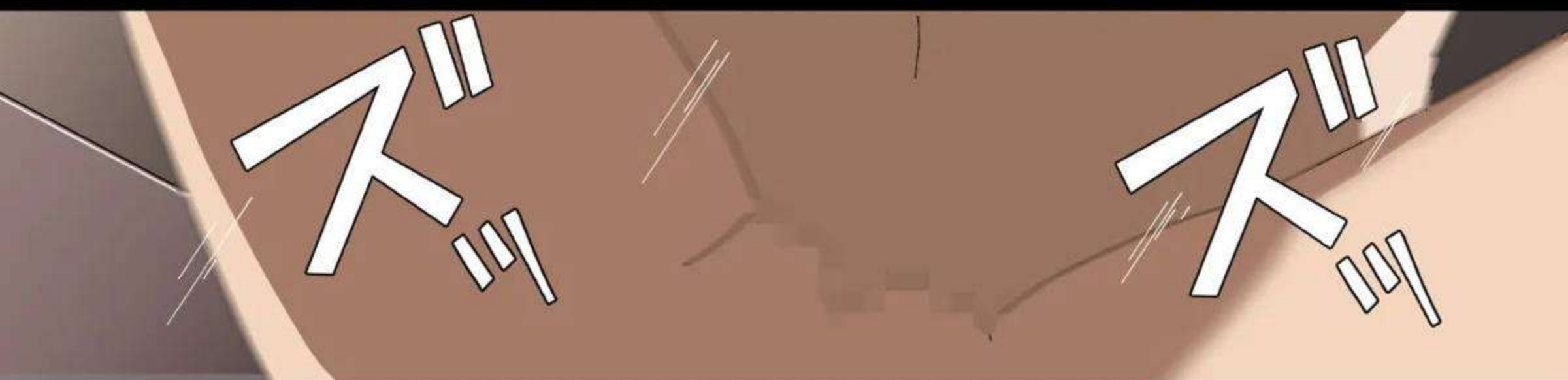
プ

カガリ
まだ時間あるよね？

もう一回しよっか

...







あああ
ああッ!!

イク!

ゴクゴク

じゃあカガリ
僕は先に
行ってるよ



式の準備は
僕に任せて

カガリは何も
しなくていいよ
執務に
専念してくれ



天国のおじ様も
僕たちを祝福して
くれているだろう



アスラン…

おわり